

1 新型コロナウイルス感染症に関するメッセージについて

全国で、新型コロナウイルス感染症がなかなか収束しない日々が続いています。新潟県内も例外ではなく、警報が継続中です。そのような状況の中、いつも冷静に行動してくださっている市民の皆さま、そして、感染症対策の最前線で対応にあたっていらっしゃる医療従事者の皆さまに対しまして心より感謝申し上げます。

加茂市では、5月8日からワクチンの集団接種が始まりました。来場される皆さまのご協力のおかげで、これまで大きな混乱もなく接種が進んでいます。しかし、ワクチン接種を希望する方全員が接種し終わるにはまだ時間がかかります。また、県内でも感染力の強い変異株の流行により重症例も多くなっており、医療現場がひっ迫しています。加茂市医師会からも感染防止の注意喚起を強く求められています。これ以上、感染が広がらないように、医療現場に負担がかからないように、改めて市民の皆さまにお願いいたします。

【お願い】

- ① 緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が適用された地域との往来は控えてください。

それ以外での地域でも不要不急の移動は控えてください。

- ② 飲食を伴う会合は、体調が悪い場合は参加しない、人数を抑える、形式を工夫するといった感染防止対策を徹底してください。
- ③ 職場での飲食は別々に、または黙食をし、食後はマスクをしてください。職場の休憩所での会話は短時間にしてください。

家庭内では、家族に症状がある場合はなるべく食事を別々にとってくだ

さい。

- ④ 手洗い、うがい、手指消毒、マスクの着用、三密を避ける、これらの感染防止対策を徹底してください。

そして、体調が悪いと感じたら、迷わず受診・検査をしていただきたいとともに、感染者が確認された時は、誰が感染したのか詮索したり、不確かな噂を広めたりしないようお願いいたします。

加茂市といたしましては、市民の皆さまが安心して暮らせるよう今後も新型コロナウイルス対策を進めてまいります。どうか皆さまのご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

2 加茂市議会 6 月定例会について

6 月定例会は、6 月 17 日（木）から 6 月 28 日（月）までの 12 日間で開催されます。

主な議案ですが、まず令和 3 年度補正予算で、子育て世帯生活支援特別給付金給付のための事業費 2125 万 9000 円で、ひとり親世帯以外の低所得の子育て世帯に対し 18 歳までの子供 1 人当たり 5 万円を支給する経費です。また、コミュニティ推進経費として 440 万円で宝くじのコミュニティ助成事業に採択された 2 団体への補助金となります。他に、認知症予防のための補聴器購入費助成のために 50 万円などとなっています。

条例については、新規条例として、「加茂市議会の議決に付すべき事件に関する条例」の制定です。

また、一部改正の条例として、「加茂七谷温泉美人の湯条例」の改正と、「加茂市住宅新築奨励条例」の一部改正です。

3 新型コロナウイルス感染症緊急経済対策、売上減少事業者給付金事業の 予算増額補正について

加茂市では新型コロナウイルス感染症経済対策として、売り上げが一定程度減少した事業者を支援し、事業を継続してもらうため、4月1日から売上減少事業者給付金の申請を受け付けています。

この制度は国の地方創生臨時交付金を活用し、今年の1月から4月の間に一昨年の同月と比較して売り上げが減少している月がひと月ある場合、減少率が30%以上50%未満の場合は上限30万円、50%以上減少している場合は上限50万円を支給するというものです。

申請受付から2か月経過し、受付件数は200件を超え、給付額は当初予定した予算の1億円に届きそうな状況となっています。

このため、5月26日に100件分、5000万円の補正予算を専決しました。

受付は7月30日まで行っています。ご不明な点は商工観光課へお問い合わせください。

4 新型コロナウイルスワクチン接種について

高齢者の新型コロナウイルスワクチン接種の終了時期を早めるため、さらに集団接種のワクチン接種日を追加し、また1日当たりの接種可能人数を増やしました。予約がまだの方や既に予約済みの方で変更したい場合は、コールセンターにお問い合わせいただくか、加茂市のホームページのワクチン接種予約受付サイトで変更してください。追加分の予約は5月20日から受け付けています。インターネットで予約する手段がない場合は、健康福祉課の窓口で予約や接種日変更のお手伝いをしていますので、ぜひご利用ください。今日現在、7月の予約枠にはまだ空きがあります。

また、このたび第一生命保険(株)と連携し、新型コロナウイルスワクチン接種予約のサポートでご協力をいただいています。地域の方々をよく知る第一生命スタッフの皆様のサポートは大変心強いです。なお、今後も様々な分野で連携していきたいと考えております。

次に、6月10日から、16歳から59歳の基礎疾患のある方の事前申告を受け付けます。申告方法はコールセンターへ電話するかインターネット、健康福祉課の窓口で受付をします。申告された方には、60歳から64歳の方への接種券の送付に合わせて、優先して接種券を送付します。

また、基礎疾患のある方、60歳から64歳の方に加えて、市内の保育園、幼稚園、こども園の保育士等の園関係者やホームヘルパー、高齢者施設等の従事者には優先して接種していただく予定です。接種券については、6月下旬に発送いたします。接種開始日につきましても、ワクチンの供給状況を見てお知らせいたしますが、今後のワクチンの供給状況によりスケジュールが前後する可能性があります。

5 ポルトガル女子体操選手の東京オリンピック事前合宿について

4月の定例記者会見で発表しましたとおり、ロシア体操チームの東京オリンピック事前合宿については、ロシア側からの申し入れにより残念ながら受け入れを断念することになりました。

しかしながら、この発表の後にクロアチア・台湾・ポルトガルから相次いで体操チームの事前合宿を受け入れてほしい旨の申し出がありました。

それぞれの連盟が「合宿地を探しているが、なかなか見つからず何とか加茂市で受け入れてもらえないか」といった内容の問合せでした。

そこで、人数、期間、費用負担などの条件を確認し、市として受け入れるべきか断るべきか担当課を交えて熟考した結果、少人数で短期間の滞在を予

定しているポルトガル体操チームの事前合宿を受け入れる方向で交渉を進めていくこととし、先月 19 日の市議会全員協議会において、報告させていただきました。ポルトガルの選手団はフィリパ・マルティンス選手と、コーチ 1 名、在京ポルトガル大使館の職員 1 名の計 3 名で、期間は 7 月 13 日（火）から 7 月 18 日（日）までの 6 日間を予定しています。

未だ感染症が収束しない中で合宿を受け入れることについては、相当悩みましたが、ポルトガル選手団はワクチン接種済みであり、毎日 PCR 検査を実施していることと、練習会場以外の不要な外出を制限するなど、ポルトガル国内で徹底した感染症対策を行っており、加茂市での合宿による感染拡大のリスクが低いと判断しました。

その後、在京ポルトガル大使館を通じてポルトガル体操連盟と詳細について協議を重ね、昨日 6 月 1 日付けで事前合宿に関する合意書を締結しました。合意書の中では、費用負担の内容や将来にわたるパートナーシップに発展するよう両者が努力することを盛り込みました。

今後の予定として、感染症対策を定めた加茂市における選手等の受入れマニュアルを作成し、ポルトガルオリンピック委員会が指名した感染症対策責任者とマニュアルに関する合意書を締結します。

常に行動を共にするアテンド職員等はキャンセル分のワクチンを接種し、PCR 検査を毎日実施することになります。

残念ですが、選手と市民の接触は控えさせていただきます。

6 ロシア体操チームとの交流について

市内小中高校生からロシア体操選手へ手紙を届けるイベントに 550 名の応募がありました。確実に届けるために、ロシア選手団の入国時に手渡したいと準備を進めています。

また体操競技を分かりやすく応援できるように観戦ガイドブックの作成や応援メッセージ動画を募集するイベントも行っています。

ロシア体操チームと加茂市の切手シートも作成中です。

このように今後も、ロシアのホストタウンとして選手を応援し、市民の声援を届けるようにしたいと思っています。

そして、ロシア体操チームがオリンピックで素晴らしい成績を上げられるように応援していきます。

7 加茂市立小中学校適正規模等検討委員会の設置について

加茂市教育委員会では、加茂市立小中学校の適正規模などについて検討し、望ましい学校教育環境の整備に取り組むため、加茂市立小中学校適正規模等検討委員会を設置します。検討委員会は学識経験者、保護者、学校関係者、地域関係者などから18名で組織する予定ですが、委員のうち2名を公募により選定します。検討委員会は令和3年8月から令和5年3月の間に、概ね2か月に1回程度開催の予定です。応募については、広報加茂6月1日号や加茂市のホームページをご覧ください。

8 自主防災シンポジウムの開催について

加茂市では、自主防災組織活動への参加促進と地域における防災活動の活性化に係る意識啓発を図るため、新潟県と共催で「自主防災シンポジウム2021in加茂」を、6月27日（日）午後1時30分から産業センターで開催します。

当日は、柏崎市関町町内会長の白川信彦さんからご講演いただき、その後

パネルディスカッションを予定しています。

このシンポジウムを通して、災害時に互いに助け合える地域づくりについて考えていただくきっかけになればと考えておりますので、多くの皆様からのご参加をお待ちしております。

9 出水期を迎えるにあたってのお願い

これから梅雨時期を迎え、水害を心配する季節となりました。

市民の皆さまには、配布してある洪水ハザードマップと土砂災害ハザードマップをご覧くださいなど、災害時の避難について再度確認をお願いしたいと思います。

また、国の法律改正により、5月20日から、自治体が発表する避難情報に変更になりました。従来までの大雨警戒レベルは、レベル3が「避難準備・高齢者等避難開始」でしたが、対象をより明確にし、いち早い避難につなげるため、「高齢者等避難」に変わり、レベル4が「避難勧告・避難指示（緊急）」でしたが、違いが分かりにくいとして「避難指示」に一本化され、レベル5が「災害発生情報」でしたが、取るべき行動が分かりにくいとして「緊急安全確保」に変わりました。今後、市から避難情報が出される際にご注意いただきたいと思います。

さらに、避難にあたっては、①早めの避難が重要であること、②2階など縦方向の避難も頭にしておくこと、③新型コロナウイルス感染症の問題もあるので、密集を避けるため、避難所だけでなく友人や親せきのお宅への避難も念頭におくことをお願いします。

詳しくは、広報かも6月号に掲載いたしますので、そちらを参考にしてください。

雨が予想されるときは、市からの情報、気象情報、県ホームページの河川

の水位等の河川情報に十分注意をしていただき、迅速に命を守る行動を取っていただきたいと思います。

10 ペットボトルの分別回収について

6月1日からペットボトルの分別回収を開始いたしました。

市内4カ所に回収箱を設置してあります。設置場所は、加茂市役所、七谷コミュニティセンター、須田コミュニティセンター、上条コミュニティセンターの4箇所です。回収箱には、いつでもペットボトルを入れられますし、どの回収場所を利用しても構いません。回収場所に持ち込めない方は、これまでどおり燃えるごみの日に出すこともできます。回収できるペットボトルの種類、分別方法などは、6月1日号の広報をご覧ください。

なお、市では将来、ペットボトルのステーション回収の実施を計画しています。今後も、ごみの減量化とリサイクルの推進にご協力をお願いします。

事前キャンプに関する合意書

ポルトガル体操連盟（以下「甲」という。）及び日本国新潟県加茂市（以下「乙」という。）は東京 2020 オリンピック競技大会（以下「東京 2020 大会」という。）における事前キャンプ（以下「本キャンプ」という。）の実施について、次のとおり合意書を締結する。

第1条 甲は、本キャンプ実施にあたり加茂市体操トレーニングセンターを利用する。

第2条 乙は、本キャンプを迎え入れるにあたり出来得る限りの支援を行う。

第3条 本キャンプ実施に係る費用負担等については次のとおりとする。

甲が負担するもの	渡航費、空港から宿泊地及び宿泊地からオリンピック選手村への移動にかかる経費、通訳費、宿泊費、食費、各種保険料、医療費
乙が負担するもの	宿泊地と練習施設の間の移動にかかる経費、警備費、感染症対策費、練習施設の無償提供

第4条 実施期間、参加人数、相互の責任等の詳細についてはその都度協議するものとする。

第5条 乙が策定する選手等受入れマニュアル遵守に関する合意書は別途締結する。

第6条 本キャンプを契機として、将来にわたるパートナーシップに発展するよう両者が達成に向けて協力すること。

第7条 本合意書に定めのない事項又は本合意書の各条項の解釈について疑義が生じた場合は、両者協議を行い解決を図るものとする。

以上の件を確認したことを証するため、本合意書をポルトガル語と日本語で2通ずつ作成し、双方署名し、それぞれ1通ずつを保有するものとする。

2021年6月1日

藤田明美

日本国
新潟県加茂市長
藤田 明美

Luis Arrais

ポルトガル体操連盟
会長
Luis Arrais

ACORDO DE COLABORAÇÃO PARA REALIZAÇÃO DE
TREINOS DE ACLIMATAÇÃO PARA OS JOGOS TÓQUIO 2020

A Federação de Ginástica de Portugal, doravante designada por FGP e o Município de Kamo do Distrito de Niigata, doravante designado como Município de Kamo, celebram este acordo de colaboração para a realização de treinos de aclimação para os Jogos Olímpicos Tóquio 2020.

Artigo 1º - A FGP utilizará para os treinos o Centro Municipal de Treinamento de Kamo.

Artigo 2º - O Município de Kamo fará o possível para bem acolher os treinos de aclimação da FGP.

Artigo 3º - Os custos com a realização dos treinos serão divididos entre a FGP e o Município de Kamo.

FGP	Passagens aéreas entre o país de origem e o Japão, transporte entre o aeroporto de entrada no Japão e o Município de Kamo, despesas com tradutor(a), despesas com alojamento e alimentação, seguro e despesas médicas.
Município de Kamo	Transporte entre o hotel e o recinto para treinos, contratação de pessoal de segurança, despesas para assegurar as medidas contra Covid-19, despesas relacionadas ao uso da instalação desportiva.

Artigo 4º - Informações como as datas dos treinos, a composição da delegação e os responsáveis de ambas as partes serão definidos em tempo oportuno.

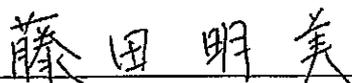
Artigo 5º - A FGP e o Município de Kamo concordam em assinar no “Manual para Acolhimento de Treinos de Aclimação” que o Município de Kamo elaborará em tempo oportuno.

Artigo 6º - Aproveitando a realização dos treinos no Município de Kamo, o Município de Kamo e a FGP concordam em desenvolver esforços para a criação de bases para futuros intercâmbios.

Artigo 7º - Em caso de surgimento de dúvidas ou necessidade de determinar pontos não previstos neste acordo, estes serão esclarecidos ou decididos com a concordância de todas as partes envolvidas.

Para formalizar o acordo, este documento é redigido e assinado em dois exemplares, em português e em japonês, que ficam arquivados respetivamente pela FGP e pelo Município de Kamo.

Aos, 1 de Junho de 2021,



Akemi Fujita

Presidente da Câmara Municipal de Kamo



Luís Maria Severino Arrais

Presidente da Federação de Ginástica de Portugal

自主防災シンポジウム2021 in 加茂



災害時などに互いに助け合える地域づくりについて一緒に考えてみませんか。

令和3年6月27日(日)

13:30~15:30 (開場13:00)

加茂市産業センター ホール

(加茂市幸町2-2-4)



プログラム

- 13:35 基調講演 『…ながら防災のすすめ』
柏崎市関町町内会長(前自主防災会会長) 白川信彦 氏
- 14:30 パネルディスカッション
パネラー
柏崎市関町町内会長(前自主防災会会長) 白川信彦 氏
田上町上野地区自主防災会 会長 中澤幸一 氏
加茂市中村区自主防災会 会長 荒井誠治 氏
コーディネーター
(公社) 中越防災安全推進機構 河内 毅 氏

【参加申し込みについて】

6月22日までに加茂市総務課へ電話、メール、またはこの用紙に記入のうえFAXしてください。

定員150名・参加無料・事前申込必要

参加申込書	
氏名	
自治会名 (加茂市以外の場合は市町村名)	
連絡先☎	

主催:加茂市・新潟県

お問い合わせ

加茂市総務課防災係

TEL:0256-52-0080

FAX:0256-53-2729

bousai@city.kamo.niigata.jp

令和3年5月20日から

ひなんしじ

避難指示で必ず避難

ひなんかんこく

避難勧告は廃止です

警戒レベル

4

警戒レベル	新たな避難情報等		これまでの避難情報等
5	 災害発生 又は切迫	きんきゅうあんぜんかくほ 緊急安全確保 ※1	災害発生情報 (発生を確認したときに発令)
~~~~<警戒レベル4までに必ず避難！>~~~~			
4	 災害の おそれ高い	ひなんしじ <b>避難指示</b> ※2	・避難指示(緊急) ・避難勧告
3	 災害の おそれあり	こうれいしゃとうひなん <b>高齢者等避難</b> ※3	避難準備・ 高齢者等避難開始
2	 気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	 今後気象状況 悪化のおそれ	早期注意情報 (気象庁)	早期注意情報 (気象庁)

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。

※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

警戒レベル5は、

すでに安全な避難ができず  
命が危険な状況です。

警戒レベル5緊急安全確保の  
発令を待ってはいけません！

避難勧告は廃止されます。

これからは、

警戒レベル4避難指示で  
危険な場所から全員避難  
しましょう。

避難に時間のかかる

高齢者や障害のある人は、

警戒レベル3高齢者等避難で  
危険な場所から避難  
しましょう。